

令和4年度 健康診査等の実施体制について

1 健（検）診等の実施体制

対象者	申込方法	受診可能な健（検）診				人間ドック 会場：検診 機関
		集団健（検）診 会場：地区会場・糸病健診センター		施設健（検）診 会場：医療機関		
		健康診査	がん検診等	健康診査	がん検診	
		身体計測・血圧・尿・血液検査・40～74歳のみ心電図と眼底検査	肺がん 胃がん 前立腺がん 乳がん 子宮がん 肝炎	身体計測・血圧・尿・血液検査・40～74歳のみ心電図と眼底検査	乳がん 子宮がん	
・18～39歳	電話 Web 窓口 はがき	○	子宮がんのみ(20歳以上女性)	○	子宮がんのみ(20歳以上女性)	31歳以上 国保加入者のみ
・40～74歳		○	○	○	○	国保加入者のみ
・75歳以上 ・74歳以下の後期高齢者医療制度加入者		○	○	○	○	後期高齢者ドック

2 健（検）診種類別 対象年齢

健（検）診種類		対象者
健診	一般健診	18歳から39歳以下 生活保護受給者
	特定健診	40歳から74歳
	後期高齢者健診	75歳以上 74歳以下の後期高齢者医療制度加入者
がん検診等	肺がん・胃がん	40歳以上
	前立腺がん	50歳以上
	乳がん	40歳以上女性
	子宮がん	20歳以上女性
	肝炎ウイルス	40歳以上で、今まで市の健診で肝炎ウイルス検査を受けたことが無い方

3 受診率向上のための取り組み

(1) 受診しやすい体制

- ・受診者の利便性向上のため、集団健診会場では健診と同時に肺がん・胃がん・前立腺がん・肝炎ウイルス検査を受けることが可能。
- ・集団健診では、土曜日・日曜日にも健診日を設定している。集団健診・施設健診、実施日等、都合の良い場所や時間を選んで受けることができる。
- ・人間ドックを除いて、糸魚川市国民健康保険加入者・後期高齢者医療制度加入者・生活保護受給者はすべて無料。

【新規】令和4年度から、一部の会場で健診と各がん検診に加え、乳がん・子宮がん検診も同時実施予定。

(2) 感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、すべての集団健（検）診で事前予約制とし会場に入る受診者数を制限し、換気・消毒を徹底している。

(3) 申し込み方法の工夫（電話混線対策）

- ・健診の申込方法は、電話・web・本庁もしくは事務所の窓口で直接申込と複数の方法から選択できるようにしている。
- ・糸病健診を除く集団健診の電話申込コールセンターを土日に開設。
- ・糸病健診受付は、糸病へ直接申込に変更。（糸病で申込受付日を設定予定）

【新規】令和4年度から、健診日の希望が無い方については全戸配布の保健カレンダーと一緒に配布される申込はがきを郵送してもらい、後日市が指定する日時で受診する方式を取り入れる予定。

(4) 未受診者対策

- ・国保加入者全員、その他は前年度健診受診者へ個別案内通知。
- ・がん検診等案内及び無料券を個別案内通知。

（大腸・乳がん、肝炎ウイルス：40歳、子宮頸がん：36歳）

【徹底】診療情報の連携を強化

- ・診療情報提供書の活用啓発（未受診者受診勧奨時に案内）。
- ・JA健診、職域健診(がん検診)との情報連携。

【新規】春夏健診終了後、特定健診未受診者への受診勧奨

- ・行動経済理論である「ナッジ理論」を活用した未受診者への受診勧奨を行う。
- ・事業実施後は効果を検証し、次年度の取組に繋げる。
- ・新潟県特定健診受診率向上モデル事業委託事業所への委託を予定。

※ナッジ（軽く突くの意）：行動経済学の知見に基づく工夫や仕組みによって、人がより望ましい行動を自発的に選択するよう誘導する政策手法。